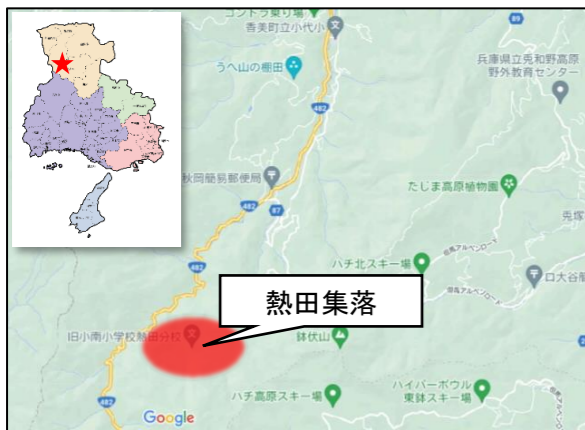


美方郡香美町  
小代区新屋

豪雪地帯である香美町小代区の秘境に佇む熱田集落跡。但馬牛（うし）純血種が残った“和牛の聖地”として語り継がれ、2010年までの約30年にわたり、都市部からの自然体験教室を受け入れた、農泊のさきがけとなる民家跡が残る。



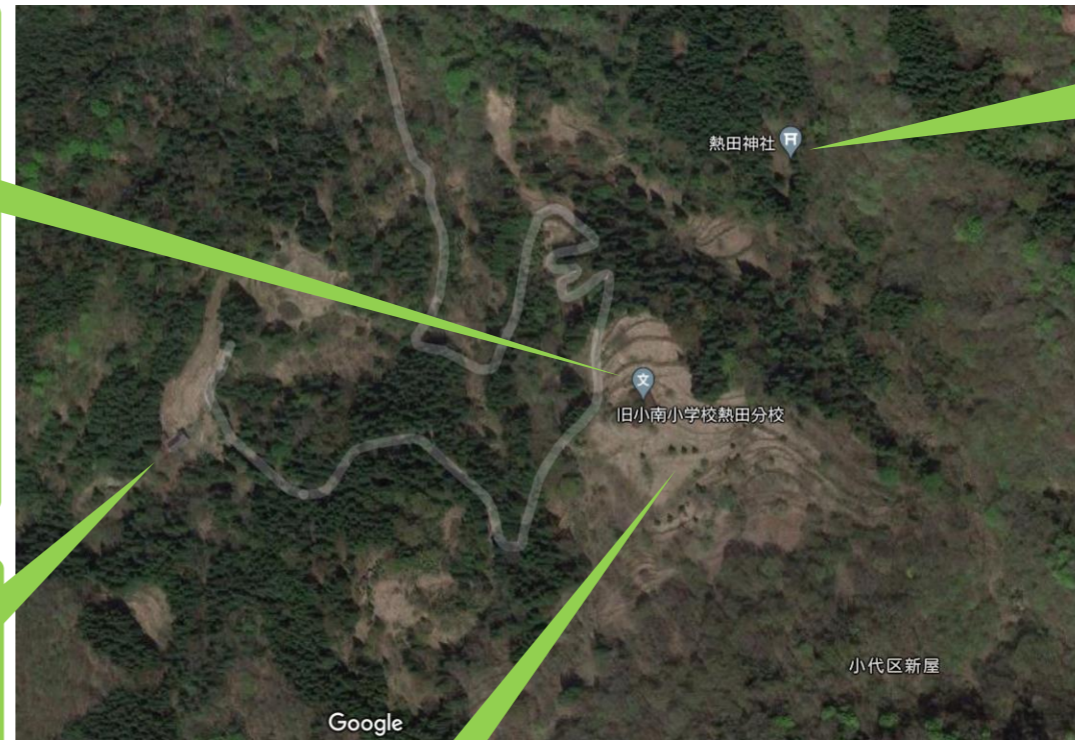
旧小南小学校熱田分校 観音堂

昭和16年、**熱田分校**開校。現在の校舎は、昭和34年に改築、移転されたもの。公衆電話が設置されるなど、集落の生活を支える施設でもありました。校舎から見上げたところに**観音堂**があり、善光寺から勧請されたとも云われる薬師如来像が奉られている。



山間に佇む民家

**牛と共に過ごしていた民家**は、2010年までの約30年間、自然体験教室の受入施設として利用されていた。

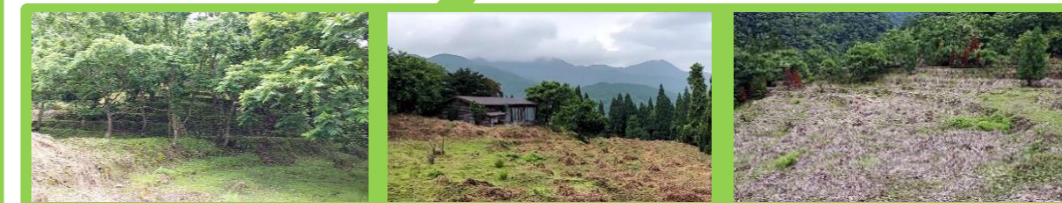


熱田神社

熱田集落は、約800年前、尾張国（現愛知県）の熱田神宮に仕えていた田野氏が家臣を連れて移住してきたことが起源とされている。熱田神宮から分祀された“**熱田神社**”が、この集落を見守っている。

～ 熱田神社にまつわる話 ～

- その1  
かつて神社を移転しようとして、集落から運び出そうとした人の足が動かなくなり、移転を断念。
- その2  
神社周りの杉の木が、雪で倒れることが度々あるが、神社に当たったことは一度も無い。



標高約700mの山間では、傾斜地を利用した**棚田（水田）**や畑が広がり、山葵（わさび）が採れたり、柳行李（やなぎごおり）が作られるなど、牛が育まれる環境と景観が形成されてきた。

ストーリー

約800年前	尾張国から熱田神宮に仕えた田野氏が移住（熱田集落、熱田神社の起源）
1394～1428年	金銀銅鉄が掘り出され栄える
江戸～明治～昭和	小柄で小回りがきく但馬牛は、田畑を耕すために飼われ、家族同様に大切にされていた。明治以降、外国の牛のように大きな体格のものにしようとして外国種との交配が進められたが、集落は山間部の谷筋にあり、他の村からも遠く離れていたため、交配を免れた純粋な但馬牛の血統が奇跡的に守られた。熱田集落で育てられた牛は、熱田にちなんで「あつた蔓（づる）」と名付けられた。
1939年（昭和14年）	全国の黒毛和種牛99.9%に血縁を持つ名牛「田尻号」が田尻松蔵さん宅に生まれる。和牛のルーツでもあり、有名な神戸ビーフの素牛。
1968年（昭和43年）	大雪の日、主婦5人が買い物からの帰宅途中で雪崩事故が発生
1969年（昭和44年）	全住民が同町中心部に建設された越冬住宅に集団移転（熱田分校閉校）
2020年（令和2年）	3月31日をもって自治会活動休止 昭和レトロな熱田分校、農泊のさきがけ「自然体験教室を受け入れた熱田の古民家」、純血種が奇跡的に残った“和牛の聖地”「あつた蔓」が生まれた里が佇んでいる。

起源

繁栄

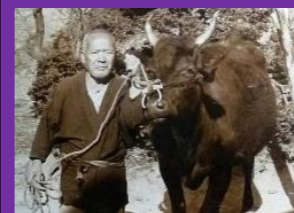
奇跡

和牛の聖地

雪崩事故

集団移転

廃村



田尻松蔵さんと但馬牛



分校前での記念撮影



但馬牛を引き連れ  
集団移転を行う様子



分校の周りの  
棚田等の風景



昭和38年豪雪  
ヘリコプターによる物資搬送



牛との生活の様子



越冬住宅（共同牛舎も建設された）

登録する景観の構成要素

旧小南小学校熱田分校、観音堂、熱田神社、牛と共に過ごしていた民家、棚田等、熱田集落の歴史・文化・生業に関わる景観とストーリー